



Japan Food Selection

ジャパン・フード・セレクション

審査レポート

BLACK OOLONG TEA-黒烏龍茶-



食の情報の専門家
一般社団法人
日本フードアナリスト協会
Japan Food Analyst Association Certified

審査レポート



商品名 BLACK OOLONG TEA-黒烏龍茶-

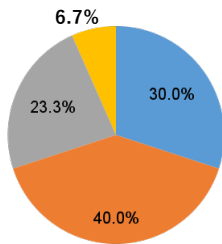
評価結果 グランプリ 受賞回・年月 第97回 (2026年3月)

WEBアンケート・1次審査・2次審査・最終審査を厳正に行った結果をご報告させていただきます。

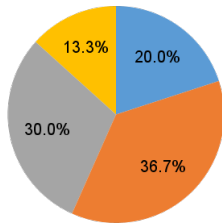
WEBアンケート結果

■ とてもある ■ 少しある ■ 普通
■ あまりない ■ ない

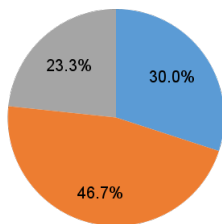
1 この商品に興味がありますか



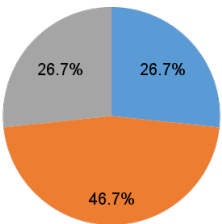
2 この価格で買いたいと思いますか



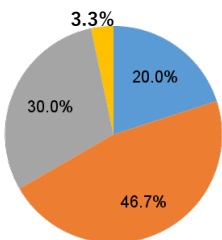
3 この商品をターゲットにする客層は多いと思いますか



4 USP (その商品の独自の売り)がある商品だと思いますか



5 買いたくなるネーミングですか



審査評

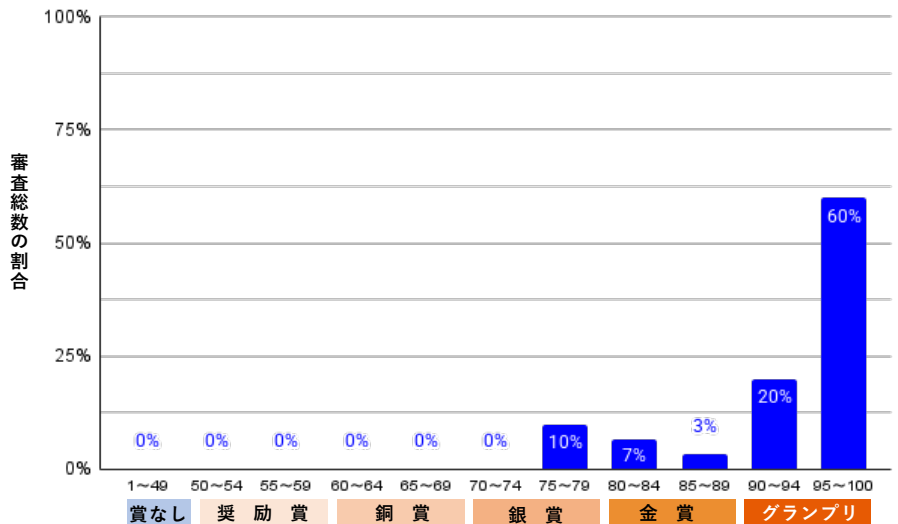
評価が高かった内容

ウーロン茶の渋みと香りの高さをしっかりと味わえる
 すっきりした後味で、外国語表記による洗練されたイメージ
 ブランドシリーズで統一感がある
 安全性と保存性に配慮したアルミ箔を採用したパッケージ
 粉末での黒ウーロン茶に希少性がある
 保存料着色料不使用で安全安心
 中国福建省の茶葉を使用している

評価が低かった内容

0.5gが量りにくいので、スプーンの目安等があれば嬉しい
 何種類か買うのなら、缶の方が良い
 スティックタイプが欲しい
 1杯あたりでは安いですが、1パックでは高い
 本格的な茶を好む層にはささりづらい
 残留農薬検査をしてほしい
 難消化性デキストリンが使用されている理由がほしい

点数分布



点数分布として、銀賞相当が10%、金賞相当が10%、グランプリ相当が80%を占めた結果、総合評価93点で【グランプリ】となりました。グラフが高得点に寄った理由として、老若男女に関わらず粉末のため使いやすく、親しみやすいウーロン茶の“味”や“渋み”“香り”をしっかりと味わえるクオリティーの高さが多くの人の好感を得たことが挙げられます。アンケートの結果から7割の人がこの商品に「興味がある」と答えていることを見ても、商品のわかりやすさは非常に強みといえます。

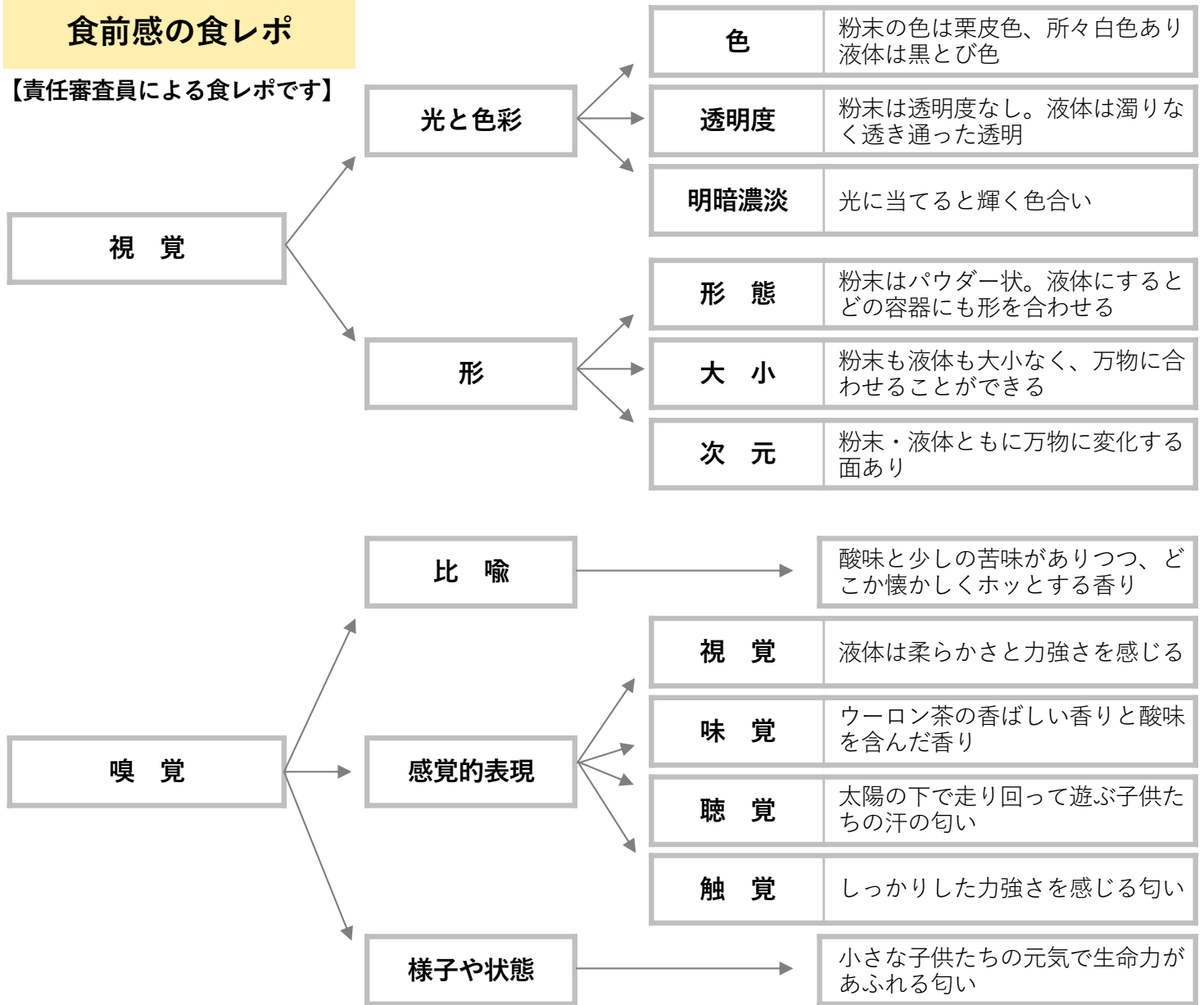
一方、銀賞相当の範囲にも少なからず点数が入り、1回あたりの分量や残留農薬の検査等が評価が割れた要因と考えます。



美味しさ分析レポート1

食前感の食レポ

【責任審査員による食レポです】



■ 食前感 講評

見た目は、粉末の色は栗皮色で、所々白色があり、湯や水を注ぐと発酵による黒とび色でした。粉末には透明度はありませんが、液体は濁りはなく、透き通ったこげ茶褐色の透明で、光に当てるとキラキラ輝いています。

大きさは粉末も大小なく、万物に合わせることができます。粉末はさらさらのパウダー状でとても気持ちのよい触り心地で、好印象を受けました。

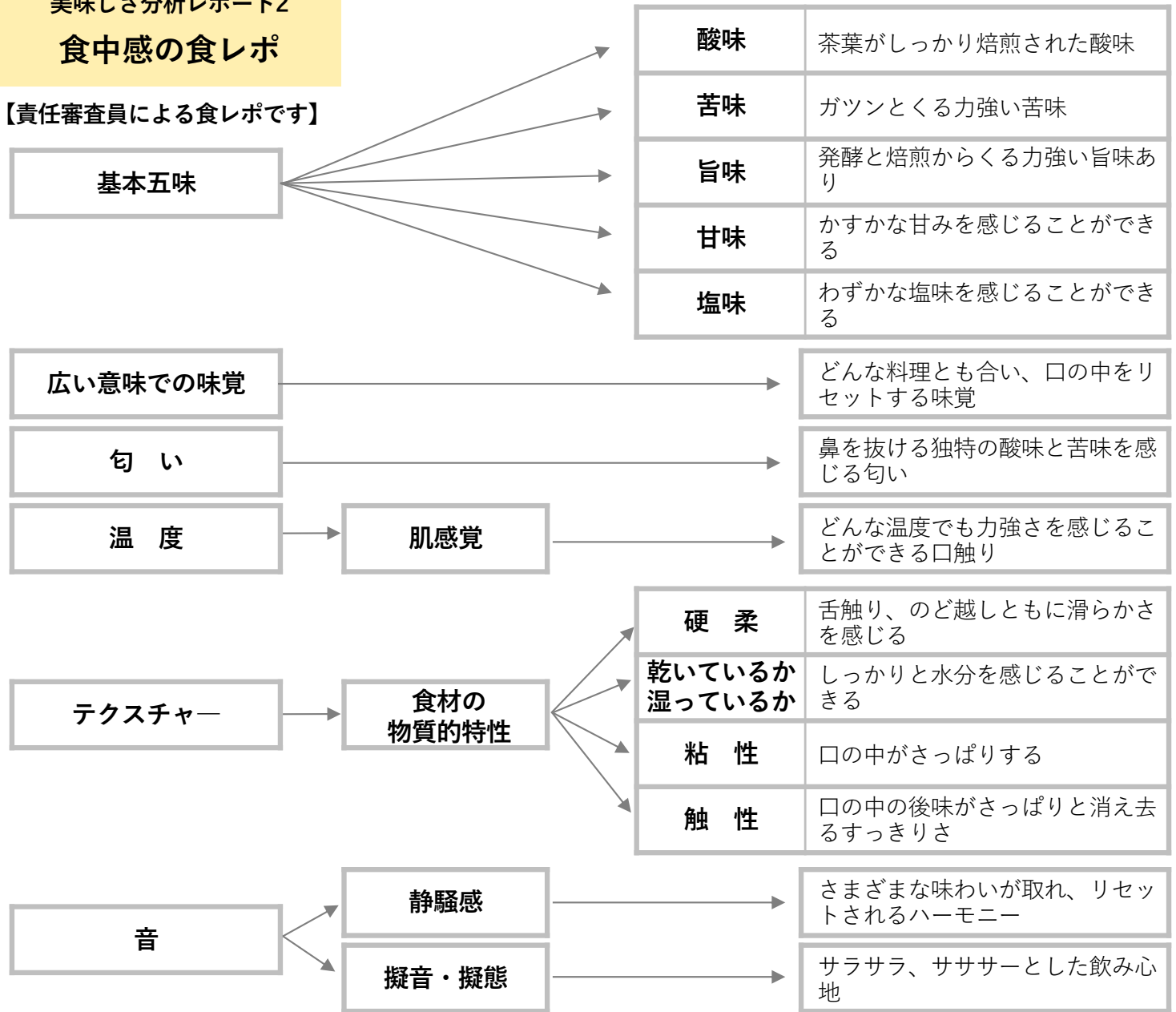
匂いは、酸味と少しの苦味があり、どこか懐かしくほっとする香りです。ウーロン茶は製造工程で発酵させるため、その発酵からくるしっかりした力強さを感じる匂いは、小さな子供たちの元気で生命力を感じさせるような匂いです。

パッケージを開ける前から、袋の手触りが心地よく、封を開けたときのウーロン茶の香ばしさが辺り一面に漂い、黒烏龍茶が大好きな私は飲む前からワクワクした気持ちでいっぱいでした。ウーロン茶、香ばしい香りと酸味を含んだ香りが嗅覚をほどよく刺激し、食前に"早く飲みたい"そんな思いに心が躍りました。

美味しさ分析レポート2

食中感の食レポ

【責任審査員による食レポです】



■ 食中感 講評

常温や冷水、熱湯などどんな温度でも力強さを感じることができる口触りでした。ひと口含むと鼻を抜ける独特の酸味と苦味を感じ、飲んだ後は、喉の奥から黒烏龍茶独特の少しくセのある香ばしい香りが漂い続けました。

基本五味をわずかながら感じることができ、茶葉がしっかり焙煎された'酸味'、ガツンとくる力強い'苦味'、発酵と焙煎から力強い'旨味'、微かな'甘味'と'塩味'を実感しました。この五味のバランスの良さが、老若男女多くの方が"おいしい"と感じることができる理由となります。

特に、この黒烏龍茶は、口に含んだ瞬間、舌触り喉越しともになめらかさを感じることができるテクスチャーです。飲み終わった瞬間、口の中にある雑味がさっぱりと消え去り、リセットされるスッキリさを感じることができます。さらさら、ささサーとした飲み心地で、力強さを感じることができました。

飲み終わればすぐにもう1杯飲みたくなる、まさに"手が止まらない"味で食中間、やみつきになりました。



美味しさ分析レポート3

食後感の食レポ

【責任審査員による食レポです】

後味

普通の烏龍茶より芳香な風味を感じることができ、口の中ではかすかに残る甘味を感じることができる

気候・地域

黒烏龍茶は冷茶にしても熱くても、年中美味しさを損なわず、飲むことができる。貴社の黒烏龍茶は台湾で購入した黒烏龍茶と遜色がなく、とても美味しい

食経験・食習慣

黒烏龍茶との出会いは、香港へ旅行に行った時のお茶屋さんで、口の中がサッパリしながらリセットされる味わいに興味を持ったのを思い出した

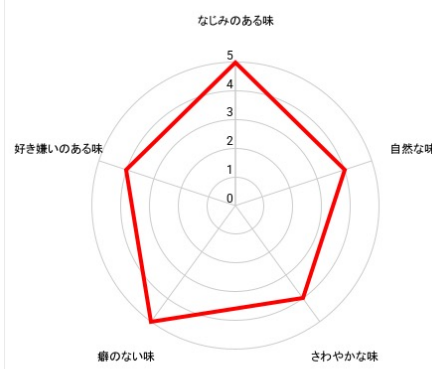
健康・生活様式

最近ほぼ毎日、黒烏龍茶を飲んでいる。貴社の黒烏龍茶は粉末のため、とても手軽に飲むことができ、とてもありがたい

基本五味の レーダーチャート



広い意味での味覚の レーダーチャート



五感に対する感じ方 レーダーチャート



| 五味 | 評点 |
|-----|----|
| 酸味 | 4 |
| 苦味 | 4 |
| うま味 | 4 |
| 甘味 | 2 |
| 塩味 | 2 |

| 広義の味 | 評点 |
|----------|----|
| なじみのある味 | 5 |
| 自然な味 | 4 |
| さわやかな味 | 4 |
| 癖のない味 | 5 |
| 好き嫌いのある味 | 4 |

| 五感 | 評点 |
|----|----|
| 視覚 | 4 |
| 聴覚 | 3 |
| 触覚 | 3 |
| 味覚 | 5 |
| 嗅覚 | 4 |



ジャパン・フード・セレクション 審査レポート

1. 内部的要因（味・五感・ニュース性等）

色合いが濃く、風味も、黒烏龍茶独特の複雑な味わいが味わえるところが素晴らしいと思いました。発酵と焙煎がしっかりと施されているため、色、風味、独特の渋みを感じられます。粉末茶とは思えない仕上がりで、茶殻が出ないため環境に優しい商品でした。

ただ、黒烏龍茶本来の香りが少ないため、香りを強くする工夫をすれば食中間の期待が高まりそうに思われます。また、福建省のウーロン茶と言うだけでブランド価値があるので、そのことを前面に出すことで、さらに価値が上がると思われます。

2. 外部的要因（ネーミング・パッケージ等）

パッケージデザインが洗練された高級感があり、外国語表記と日本語表記のため中身がわかりやすいところに好感が持てます。安全性と保存性に配慮したアルミ箔を使ったパッケージは使いやすく、スタンディングタイプのパッケージのため見やすく、お客様への気遣いに感銘を受けました。

ただ、英語表記がおしゃれすぎて、ウーロン茶だとわかりにくいいため、カタカナ表記を増やすと多くの人に伝わりやすいです。また、缶入りやスティックタイプがあれば湿気にくいと思われます。

3. 市場要因（ターゲット・トレンド等）

手軽さと品質の両立を求めている消費者のニーズに答えたインスタントティーで、茶殻が出ないお茶は少しでも手間を省きたいシーンで活躍すると思われます。

ただ、粉末茶があまりメジャーではないため、本格的な中国の味わいを楽しめる点や福建省の茶葉や使用している点を前面に出しアピールすることで、手に取られやすくなるのではないのでしょうか。また、女性だけではなく、老若男女すべての人が手に取りやすいように、個別包装にすることでまだまだ伸びしろを感じることができます。

4. マネジメント・PR要因（広報・広告等）

社内組織がきちんと確立されており、予算、担当者、窓口などがしっかり設けられているところに好感が持てます。SNSやアンケートで第三者の意見を取り入れており、その口コミを収集して分析し、広報に役立っていることが素晴らしいと思います。インスタやLINEなどいろいろな広報をされているにもかかわらず、全国的に広がっていないので、さらなる情報発信、広報戦略を練り直せば、全国的に広がるのではないのでしょうか。例えば、インフルエンサーを活用させることでファミリー層やお一人様向けの需要が出るかと思われます。

5. ブランディング要因

企業として消費者目線で商品開発され、安定したブランディング戦略が感じられます。様々なお茶をシリーズ化しており、パッケージデザインは統一感あり、商品群全体でブランドイメージを作っているところに感銘を受けました。

ただ、ブランド内の各種茶で統一感はあるものの、パッケージが似ているものも多く、ある意味差別化しきれていないのではないかと思います。手軽に楽しめる商品なので、海外の方向けにわかりやすい説明することで、日本のみならず、海外の方からも新たなファンの獲得にもつながると確信します。

6. 素材・安全性・その他

中国・福建省の茶葉にこだわり、7Sを土台とした現場管理のもと茶葉を栽培・製造されていることに感銘を受けました。トレーサビリティや中国の自社工場でHACCPに基づく衛生管理、日本国内の充填工程では第三者認証であるFSSC 22000を取得した工場で行われており、消費者目線の安心安全な取り組みに、企業努力、配慮が伝わり、消費者を大切に思う気持ちが伝わってきます。また、茶葉の残留農薬検査が実施されていけばさらに安全性を感じることができると思われます。

審査レポート

■ 要因分布

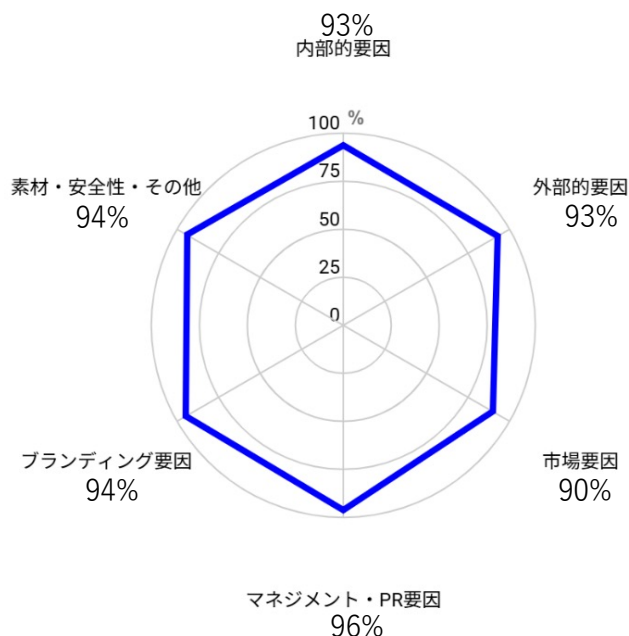
要因分布として、90%から96%の範囲に分布し、全体的にバランスの良い大きな六角形となりました。

味や香りなど五感からなる商品全体の魅力を表す「内部的要因」が93%、ネーミングやパッケージから構成される「外部的要因」も93%と高評価です。マネジメント・広報などの「マネジメント・PR要因」96%と、上記3要因に関しては、この商品の持つそれぞれの特徴やクオリティーが高く、安定した高評価につながりました。

「ブランディング要因」は94%と高評価です。様々な種類のお茶がシリーズ化され、パッケージデザインが統一化されることで、商品全体でブランドイメージを作っているところが審査員に伝わり、高評価となりました。

「素材・安全性」は94%と高評価です。中国・福建省の茶葉にこだわり、HACCPやトレーサビリティなど消費者目線の安心安全な取り組みが高評価つながりました。

一方、「市場要因」は90%にとどまりました。パッケージデザインは洗練され高級感があるのですが、外国語表記がおしゃれすぎてウロン茶だとわかりにくいいため、評価が割れることで点数が伸び悩む結果となりました。



■ 総評

まず初めに「手軽さと本物、両方叶える」をコンセプトに、自然の素材を大切に扱い、手軽さを重視しつつ、より良い"味"への探求を続け、消費者目線で開発されている姿勢に敬意を表します。

「BLACK OOLONG TEA-黒烏龍茶-」は、商品としてわかりやすく中身をイメージしやすいため、飲む前からワクワクし、心ときめく商品でした。洗練されたおしゃれなパッケージは高級感があり、パッケージを見ただけで美意識が高くなる気持ちに駆り立てられました。封を受けると黒烏龍茶独特の発酵による酸味や風味が漂い、その独特な香りに魅せられ、何度も匂いをかぎました。日本茶や中国茶が好きで何種類もの茶葉をコレクションしている私にとって、本商品は香り高く、粉末を少し多めにに入れて飲むことで、しっかりとした味や香りを楽しむことができました。この味わいは多くの審査員を魅了し、高評価につながりました。また、本場・中国の福建省でトレーサビリティやHACCPなど厳しい管理体制のもと栽培から、製造に至るまで消費者目線で丹精込めて大切に作られ、安心安全な取り組みが審査員たちの高評価を得ています。また、茶殻が出ないお茶は、忙しい現代人の生活に寄り添っており、その点についても高評価を得ています。

一方、ネガティブな意見として「チャック式も良いが、1回分ずつの個包装が欲しい」「パッケージ記載のグラム数では分かりづらいため、スプーンを入れて欲しい」「湿気が気になる」などの意見がありました。1回分ずつの分量だとその分コストが上がってしまいますが、持ち運びに便利である点や老若男女すべての人が使いやすくなります。またスプーンが付属であると分量がわかりやすく量る手間が省けます。黒烏龍茶は女性だけではなく、老若男女、多くの人から人気があります。本格的な味わいの黒烏龍茶が手軽に味わえると新たなファンの獲得につながると思われます。

また、パッケージの日本語表記と英語表記はおしゃれで良いのですが、多くの審査員から「商品名が分かりづらい」との声もありましたので、ご検討いただくと幸いです。

出品商品はそれ自体、完成度は非常に高いものであり、「BLACK OOLONG TEA-黒烏龍茶-」が多くの人々に愛され続けるよう、さらなる飛躍と活躍を楽しみにしています。



〒102-0082 東京都千代田区一番町15-8 壱番館5階
Tel : 03-3265-0518 / Fax : 03-3265-0519
Mail : info@foodanalyst.jp



Japan Food Selection

ジャパン・フード・セレクション